



地域で学ぶ ～まちご エンジョイ ラーニング～

校長 五十嵐 俊子

10月27日土曜日の「ふれあいサタデー」では、地域のみなさまが講師となって、31もの講座で、子供たちに貴重な体験の場を用意していただきました。町五小の子供たちのためにご協力いただいた地域のみなさまと、PTA 事業委員会、係の保護者のみなさまの温かなサポートに感謝いたします。私たち教師もまた、子供たちと一緒に地域からたくさんのお話を学ばせていただきました。改めて玉川学園地域のすばらしさを感じています。今後も、地域・保護者のみなさまの特技や専門分野を、子供たちの素敵な学びの場の力として提供してまいりますよう、よろしくお願いいたします。

さて、今年度から、町五小の総合的な学習の時間は「まちご エンジョイ ラーニング」として新スタートしました。国連サミットで採択された、2030年まで国際社会が取り組むべき持続可能な17の開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」の理念の下、主体的で協働的な探究学習を実施しています。友達と一緒に地域で実生活や実社会につながる体験を通して得た、たくさんのお話と、それぞれの教科で学んだ知識をフルに生かしながら、一人では考えられなかった新しいアイデアを生み出し、未来を創る夢を育むことを目標としています。低学年は生活科、竹の子学級は全ての教科・領域を横断的に発展させた活動を行っています。この「まちご エンジョイ ラーニング」を通して、

- ・玉川学園の地域を知ることは楽しい！地域の方から教わることは楽しい！
 - ・自分の考えを伝えることは楽しい！自分の考えとは違う人の考えを知ることは楽しい！
 - ・友達と一緒に活動したり考えたりすることは楽しい！
 - ・今まで考えていたことと違う新しい考えをもてるようになったことが楽しい！
- と、子供自身が学ぶ楽しさを実感できるようにすることを目指しています。

「まちご エンジョイ ラーニング」で、第3学年は、玉川学園商店街のお店で働く貴重な体験をさせていただきました。第4学年は、地域の防災担当のみなさんと合同で避難所開設訓練を行った後、町五小初の避難所宿泊体験（体育館）を経験しました。（この体験学習は、全教員の応援態勢で実施しました。詳細は、本校のWebサイト「校長室だより」のコーナーに、5回にわたって掲載しておりますのでご覧ください。）第5学年は、玉川学園をひたすら歩き回って自然環境を探究しました。第6学年はフィールドワークを行い、関係者への取材やインタビュー活動を行いました。ゴールは教師が示すのではなく、子供たちが主体的に表現するなど、子供主体の学び方を行っています。現在、どの学年も学習発表会に向けて、発見したことや提言したいことの伝え方について活発な話し合い活動を行っています。

子供が主体的に学びに集中した時、大人が驚くほどの力を感じます。大人ではとても考え付かないような鋭い意見や質問、自分たちの提案の欠点を指摘されてもめげずによりよい提案に修正しようと真剣に話し合う姿、2学期から配備されたICT機器をあっという間に使いこなして、記録や表現にどんどん活用している姿等、子供たちのもてる力の可能性を感じる場面がいくつか見られてきました。これからも町五小の子供たちのもてる力を、もっともっと発揮させたいと思っています。

11月22日、23日の学習発表会では、学びの成果をぜひご覧いただき、子供たちにたくさんのお話やエールを送ってくださいますようよろしくお願いいたします。

